

心室ペーシングに同期して両側腹直筋の Twitching を呈した 1 例

◎佐藤 成子¹⁾、バーマン 治代¹⁾、浅川 真澄¹⁾、新井 祐司¹⁾、栗城 綾子²⁾、菊地 美和³⁾
昭和大学江東豊洲病院 臨床病理検査室¹⁾、昭和大学江東豊洲病院 脳神経内科²⁾、昭和大学江東豊洲病院 循環器内科³⁾

【はじめに】ペースメーカートラブルには、リード先端の脱落によるディスロジ、ペースメーカー本体の回転により本体やリードの位置異常をきたす Twiddler 症候群、ペースメーカーの刺激が横隔膜を刺激し、横隔膜の痙攣（しゃっくり）を引き起こす twitching がある。今回我々は、心室ペーシングに同期して再現性のある両側腹直筋の twitching を呈し、心室ペーシング停止後にも twitching が継続した症例を経験したので報告する。

【症例】80 才男性。

【既往歴】20 才代より高血圧、2017 年前立腺腫大手術、頸椎症性脊髄症、緑内障。2020 年 12 月他院にて失神を伴う洞不全症候群に対してペースメーカー（DDD）植込み術を施行した。

【経過】他院にてペースメーカー植込み後、腹部が痙攣を起こしたような症状が出現したため、ペースメーカーチェックを行った。その結果心室ペーシングに同期して twitching を認め、ペーシング中止後も 1 分程度の持続がみられた。胸部レントゲン写真・CT では、心房リードは右心耳、心室

リードは右室中部中隔に留置されておりリード線の異常は認められなかった。精査目的の為当院受診となり、当院ペースメーカーチェックにおいても、心房及び心室の波高、閾値、リード抵抗、いずれも異常を認めなかった。しかし、AV delay を短縮して心室ペーシングを入れると、再現性をもって両側の腹直筋の筋収縮が起きた。中枢性の痙攣発作の可能性も考え、後日、脳波・筋電図を同時記録してペースメーカーチェックを行ったところ、痙攣様反応出現時、脳波記録に変化は認められなかったが、心室ペーシングによる両側の腹直筋電位が記録された。その反応は、ペースメーカー停止後も継続した。

【結語】本症例は AV delay を延長することで心室ペーシングをほぼゼロにすることが可能であり、twitching は出現していない。今回我々が経験したペースメーカー植込み後、横隔膜ではなく、心室ペーシングに同期して腹直筋の筋収縮の報告は稀有である。今後文献的考察を加えて報告する。

連絡先：03-6204-6251